

かごしまSDGs推進パートナーの取組紹介

企業等名	一般社団法人 鹿児島県警備業協会	業種	警備業
URL			
現在の取組	<p>(ゴール3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員企業に対する社員の定期的な健康診断等の推奨など、健康管理対策の徹底 ・新型コロナウイルス感染症や熱中症対策のガイドラインの提示による統一した対応の徹底 ・資格取得講習や会議・研修会等の開催2週間前からの健康チェックと参加制限 ・警備員に対する救急蘇生法や負傷者の応急措置要領等の指導と訓練 ・マイナンバーカードの普及と健康保険証としての利用促進 ・「警備業労働安全衛生大会」の開催による健康と労働災害防止への意識付け ・労働災害防止「論文・ポスター・標語」を募集して広報啓発 <p>(ゴール4、8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任教育から現任教育まで教育制度の確立 ・営業所ごと及び警備区分ごとに警備員教育を担当する有資格の指導教育責任者の配置 ・すべての警備員に必須の研修の他に各種国家資格の取得を推奨することによる能力・技能のアップ ・会員会社による資格取得への助成と有資格者に対する待遇面での考慮 ・指導する経営者や教育担当者、講師等の定期的な研修会による情報の共有 <p>(ゴール5、8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性や高齢者でも働きやすい環境の構築、雇用機会の拡大 ・性別や年齢を問わない資格取得制度等による女性や高齢者の活躍促進 ・女性が家事や子育て等のライフスタイルに適宜対応できるような勤務体制の確立 <p>(ゴール7、13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房温度の目安の設定などによる、電気、水道、ガスの省エネ対策の推進 ・車使用時のエコドライブの励行やグリーンオフィス化によるCO₂の削減 <p>(ゴール8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「特定技能」在留資格に着目した外国人労働者の雇用の検討、就職の場の公平な提供 ・適正料金を確保することによる昇給制度の充実など、給与・処遇の改善 ・適正な出退勤管理、労働時間の正確な把握などによる長時間労働の抑制 ・クレーム等への組織的対応による個々警備員の精神的負担の低減 ・体力、年齢、家庭事情等の個性に応じた多様な働き方の提供 ・ハローワークと合同の求人説明会を開催しての多彩な人材の確保 ・県下高校に対する警備業の職種、教育制度、将来性等を内容とするパンフレットの配布 <p>(ゴール9)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能で強靱なインフラ整備をめざした土木・建設現場等での適切な警備業務の推進 ・原子力発電所及び周辺地域における適切な警戒警備と安全の確保 ・ICT・AI・その他のテクノロジーを駆使した安心安全の新システムの研究開発 ・畜産物の安定供給を図るため、協定に基づき家畜伝染病発生時の消毒ポイント等の警備 <p>(ゴール11、16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の安全・安心パトロール、災害時の警戒・交通誘導警備等への協力・支援 ・関係自治体や警察と協定(覚書)を締結し、事象発生時等に迅速・的確に協力・支援(災害時における交通誘導業務等に関する協定、地域安全パトロール活動に関する覚書、家畜伝染病の発生時における交通誘導警備業務に関する協定、警察画像110番システムに係る携帯電話等活用画像の送受信に関する協定、ドライブレコーダー記録データ等の情報提供に関する協定、安全・安心まちづくりの支援に関する協定) ・大規模な災害・事件事故等に急激な支援を行う「鹿警協支援隊」の編成と訓練 ・子どもや女性、高齢者等の安全を確保するための在宅確認等の見守りサービスの提供 ・高齢者等の特殊詐欺被害を防止するため、「うそ電話撃退装置」を防犯協会へ寄贈 ・地域の安全・安心に係る市民大会や暴力追放運動、交通安全運動等への積極的な参加 <p>(ゴール12、14、15)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使ったデータ管理によるペーパーレス化や再生紙・裏紙使用の推進 ・マイバッグ運動を推進するため、各種キャンペーンでエコバッグを配布 ・ゴミの軽減活動と分別の徹底、事業系廃棄物としての処理 <p>(ゴール16)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県暴力追放運動推進センター、県防犯協会及び県被害者支援連絡協議会の協賛団体(評議員)として各種活動へ参画・連携 ・協会内に「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会」を設置し、警察、弁護士会等と連携 ・暴力追放県民大会等への積極的な参加、警察講師による会員研修会等の開催 		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各会員企業を対象とした研修会の開催や広報活動 ・ホームページをはじめ各種広報媒体の活用による、警備業の位置付けや業務内容等の情報発信、人材確保 ・警備員教育へのeラーニングの活用など、警備員個々のニーズに応じた教養内容の提供、業務の効率化 		

関連するゴール

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう
		○	○	○		○	○	○	
11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう			
○	○	○	○	○	○				

(写真)



「うそ電話撃退装置」の寄贈



通学路の子ども見守り活動